

VierWeg指揮法入門

目次

《上巻》

はしがき

第1章 『はじめに』 『腕の支えと脱力』 (第1課程)

第2章 『腕の支えと脱力』 (第2課程) 支えのレベル

第3章 『肩・肘・腕の脱力』 (第3課程) 二人で行う練習

第4章 『腕を跳ね上げる力』 (第1課程) 腕とう骨筋

腕とう骨筋を訓練する ・ 思ったタイミングに腕とう骨筋を収縮させる
<叩き>のテクニックへの導入 ・ <叩き>のテクニック

第5章 『指揮棒の持ち方』 『一拍子の叩き』

一拍子の叩きの練習 (中間のテンポ・早いテンポ・遅いテンポ)

第6章 『音量と図形』 拍の強さと拍子の誕生

一拍子叩き (大きな予備運動・小さな予備運動)

一拍子叩き (二拍子・三拍子・四拍子・六拍子)

第7章 『予備運動』 『音量と図形』

第8章 『叩きのテクニック』

二拍子の叩き 三拍子の叩き 四拍子の叩き 六拍子の叩き

第9章 『加速・減速の質とリズム』 しゃくいのテクニック

二拍子のしゃくい 三拍子のしゃくい

四拍子のしゃくい 六拍子のしゃくい

第10章 『平均運動のテクニック』

二拍子の平均運動 三拍子の平均運動
四拍子の平均運動 六拍子の平均運動

第11章 『指揮法の補助テクニック』

瞬間運動 先入 跳ね上げ 引っ掛け

《下巻》

第12章 『指揮法の基本原理』 予備運動

指揮の実技。(Beethoven 交響曲第1番 第2楽章)

第13章 指揮の実技Ⅱ (Weber バリエーション Op.7)

第14章 『指揮法の原則のまとめ』 音量の設定 テンポの設定

リズムの設定 直接運動(数とり・先入)

第15章 演習課題Ⅰ 演習課題Ⅱ (Weber バリエーション Op.7)

第16章 『引っ掛け・跳ね上げ』

Haydn ソナチネ・アルバム No.21 Allegro

第17章 『ワルツ叩き』

ワルツ叩きと<分割>された[一拍子叩き]との関連性

二段叩きのテクニック sf 叩き

『ワルツ叩きの応用展開』 四連符 五連符

J.Strauss 『美しく碧きドナウ』

《楽譜》

Beethoven 交響曲第1番 第2楽章

Weber バリエーション Op.7

演習課題Ⅰ (Weber バリエーション Op.7)